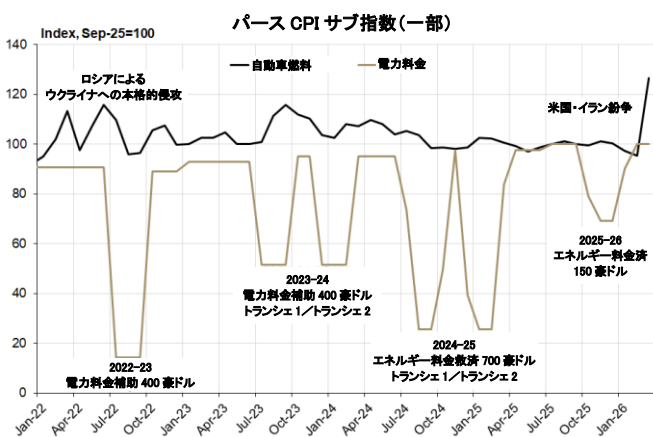
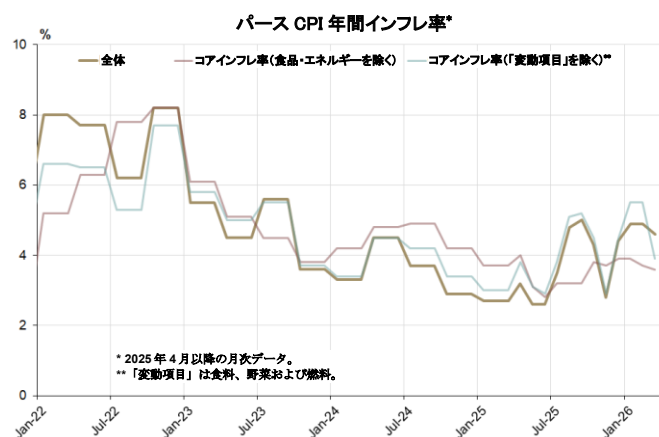


西オーストラリア州関連データハイライト

- パース CPI は 3 月に 1.2% 上昇し、通年で 4.6% 上昇となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は 3 月に 8,500 人増加した一方、失業率は 4.2% と低位安定していた。
- Cotality によれば、パースの住宅価格は 4 月に 2.1% 上昇し、通年で 26.0% 上昇となった。
- 2026 年 4 月 24 日、WATC は 2039 年 10 月 24 日を満期とする新規グリーンベンチマーク債を発行した。

パース CPI - 2026 年 3 月

- パース CPI は 3 月に 1.2% 上昇した一方、全体の CPI 年間インフレ率は 0.3 パーcentageポイント低下して 4.6% となった。西オーストラリア州の経済および労働市場の比較的堅調な実績にもかかわらず、年間でのパース消費者物価の上昇ペースはオーストラリア 8 州都の加重平均と同等かつ 2022 年のピークを依然として大きく下回るレベルでもあった。
- 消費者物価で年間成長率 25.7% と最も高かったのが自動車燃料で、これは 2 月下旬に勃発した米国とイランの紛争に起因する供給混乱による世界的な価格上昇を反映したものであった。
- 燃料価格の年間上昇率は大きな伸びを見せたものの、ロシアによるウクライナへの本格的侵攻および COVID-19 による各種制限解除後のオーストラリア経済再開直後の 2022 年 3 月に記録した前年比 45.0% 上昇を大きく下回っていた。3 月の自動車燃料価格上昇を受け、オーストラリアは 4 月 1 日からの 3 カ月を期間とする燃料税半減に踏み切った。
- 年間上昇率が 2 番目に高かったのが電力料金 (19.2%) だったが、これは連邦政府による直近のエネルギー料金救済措置のタイミングによるベース効果に起因していた。
- 一方、前年比 13.5% 低下と大きく落ち込んだのが都市交通運賃で、これは市内での公共交通機関利用促進を目的としてパースで本年 1 月 1 日から導入された一律運賃に起因していた。
- 食品・エネルギーを除く年間コアインフレ率は 3 月に 6 カ月ぶりの低水準となる 3.6% を記録した一方、「変動項目 (果物、野菜、自動車燃料)」を除くインフレ率は 2025 年 11 月以来の 3.9% に低下した。
- 年間インフレ率での比較分析によれば、自動車燃料と電力料金両方を含む物品価格は 4.8% に上昇したが、サービス価格は 4.6% に低下した。裁量的項目は 0.2 パーcentageポイント低下して 3.4% となった一方、生活必需品は燃料および電力料金を含むにもかかわらず 0.4 パーcentageポイント低下して 5.5% となった。



出典: ABS

オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	4.10	(0 pt)	AUD/USD	0.7201	(↑4.4%)
90日銀行手形	4.37	(↑7 pt)	AUD/JPY	112.77	(↑3%)
連邦政府3年国債	4.76	(↑11 pt)			
連邦政府10年国債	5.06	(↑9 pt)	ASX200	8666	(↑184 pt)

市場概況

- 4月にRBA金融政策会合はなかったものの、5月度会合における政策金利の25ベースポイント引き上げは約70%と織り込まれている。市場は引き続きRBAは2026年中に50ベースポイント超の引き上げを行うと予想している。
- RBAによるさらなる政策金利引き上げが予想されるなか、原油価格上昇が世界的インフレに及ぼす影響および金融政策の見通しに対する懸念と相まって、オーストラリア国債利回りは4月にわずかな上昇を見せたが、その上昇幅は前月を上回った。しかし、市場における緊張緩和からWATC債券利回りや連邦政府国債利回りのイールドスプレッドはやや縮小した。
- 市場センチメントの改善、そしてRBAによる金融政策引き締め予想および一部コモディティ価格の上昇から、4月の豪ドルは中東紛争激化に起因する前月の下落から反発した。AUD/USDは4月末にかけて2022年中盤以降最高レベルに達した一方、AUD/JPYは30年ぶりの高水準を記録したのち日銀のタカ派的声明および月の変わり目に実施された為替介入を受けて4月下旬に下落した。
- オーストラリア株式市場は4月に上昇したが、3月初旬に記録した過去最高値からは5.8%下落で終わった。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り 2026年4月30日		AGSスプレッド 2026年4月30日	
2027年10月21日	4.85	(↑8 pt)	+8 pt	(↓3 pt)
2028年7月20日	4.92	(↑9 pt)	+16 pt	(0 pt)
2029年7月24日	4.98	(↑9 pt)	+23 pt	(0 pt)
2030年10月22日	5.07	(↑8 pt)	+28 pt	(↓1 pt)
2031年10月22日	5.14	(↑7 pt)	+29 pt	(↓2 pt)
2032年7月21日	5.19	(↑6 pt)	+33 pt	(↓4 pt)
2033年7月20日	5.27	(↑4 pt)	+36 pt	(↓4 pt)
2034年10月24日	5.45	(↑4 pt)	+47 pt	(↓2 pt)
2035年10月24日	5.49	(↑4 pt)	+46 pt	(↓3 pt)
2037年10月21日	5.69	(↑5 pt)	+57 pt	(↓6 pt)
2039年10月24日	5.80	(-)	+60 pt	(-)
2041年7月23日	5.92	(↑5 pt)	+62 pt	(↓12 pt)

